

令和2年度

法人本部事業報告書

社会福祉法人岩手ひだまり会

令和2年度社会福祉法人岩手ひだまり会事業報告

I. 前文

令和2年度においては、長年の懸案事項であった重度心身障がい児・医療的ケア児のための通所施設「ひだまり水沢☆きらり」を5月1日に開設することができました。実績として児童発達支援6名、放課後等デイサービス3名、生活介護2名、合計11名の登録数となり、利用延べ人数は576人と奥州市において新たな療育拠点となりました。

しかしながら、全体の事業収入が前年度と比較して約867万円、前年対比で約2.2%増と小幅な伸びに留まりました。この原因として、制度改正による指標該当区分の割合(※1)が50%を下回ったため、1回当たりの利用金額が区分Ⅰ(660単位)から区分Ⅱ(612単位)となり、同じ数の利用児童を預かったとしても事業所単位で8%減収となってしまうことや、高等部となった児童の利用機会の減少や、新規参入事業所により供給体制が飽和状態となったため、収益微増の原因として上げられます。

このような中、他事業所等との差別化を図るべく、北上地区において全国にサービス拠点231カ所を運営し、応用行動分析学(※2)による個別支援を実践している(株)LITALICO(リタリコ)の「発達ナビ運営サポート」による専用教材の導入と臨床心理士から1年に渡り指導を受け、現場での個別支援への質の向上に努めました。さらに、これと併せて1月から北上地区の2事業所で児童発達支援事業(※3)を開始し、国が推奨している「早期発見、早期療育」による地域福祉の推進に努めました。

今後、療育の質の向上は必須です。社会福祉法人岩手ひだまり会は「個別指導も集団指導も、丁寧な課題分析と根拠に基づく支援が受けられる事業所」として引き続き質の向上が大きな目標となります。そのための、「人財の採用と育成」は重要であり、積極的な採用展開を行いました。その結果、看護師や保育士、児童指導員といった多くの有資格者の採用に繋がりました。又、「働きながら学び、学びながらキャリアを形成する」のスローガンのもと職員の定着と国家資格等の取得推奨を行った結果、令和2年度においては社会福祉士2名、言語聴覚士1名の合格者に恵まれました。

このように、社会福祉法人岩手ひだまり会は「人に尽くし 人に学び 人に感謝せよ」の理念の下、役職員一同、更なる法人経営の安定と社会福祉の増進に努めます。

(※注釈1 指標該当区分)

平成30年度障害福祉サービス等報酬改定において、指標により判定された重度の区分に該当する児童の割合に基づき、放課後等デイサービス事業所の基本報酬が決まることとなりました。

(※注釈2 応用行動分析学)

障がい児への支援方法だけでなく、一般の子育てにも幅広く使われており、療育支援の基本となるものです。子どもにとって好ましい行動を増やすことで、自信をつけさせるための方法論

(※注釈3 児童発達支援事業)

未就学児を対象とした、通所発達支援サービスです。

II. 基本理念

人に尽くし 人に学び 人に感謝せよ

III. 基本方針

- ・私たちは、利用者・家族・地域に寄り添いながら、地域社会に貢献していきます。
(社会貢献)
- ・私たちは、利用者の人権と尊厳を保持し、心身共に健やかに育成されるよう適切な支援に取り組みます。(人権と尊厳)
- ・私たちは、利用者・家族・地域の方々と連携し、共に学び共に成長できるよう、資質の向上に努めます。(資質の向上)
- ・私たちは、利用者・家族・地域のおかげさまであると感謝と謙虚な気持ちを忘れず、堅実な経営に努めます。(堅実経営)

IV. 事業の成果と課題

令和2年度においては下記重点項目(具体的事業内容)に沿って事業を実施しました。その成果と課題について項目に沿って報告します。

重点項目(具体的事業内容)

(1) 地域で必要とされるサービスの提供

① 法人の拠点となる施設整備に向けた取り組みについて

ひだまり岩谷堂近隣の雑種地は平成30年度に完済し、農地についても令和2年度に完済しました。農地分については、今後農地転用の手続きを進めながら長期的な視点にたち計画作成を進めます。

② 医療的ケアを必要とする障がい児者の動向について

平成27年度より取組みを進めて参りました。地域の現状を把握するなどして、令和2年5月「ひだまり水沢☆きらり」の開設に至りました。

③ 早期支援実現に向けた児童発達支援事業の開設について

障がいのある乳幼児等の療育をする児童発達支援事業を、令和3年1月にひだまり北上中央とひだまり北上にこっとで事業を開始しました。奥州市での展開を進めていきます。

④ 就労継続支援B型の魅力ある生産活動について

昨今、国が進めている「農福連携」の取り組みでは、令和2年7月に小澤りんご農園と業務委託契約を結び、施設外就労先として2名の利用者が7月から10月末

まで週2日間りんご作業をしました。令和3年度は5月からりんご作業をする予定です。また、受注作業において、利用者生産性向上に努めています。

また、生産活動一辺倒ではなく、旅行・本人活動等を通して社会適応性の向上と社会参加活動の充実により「利用者のQOL(生活の質)の向上」に取り組みます。

⑤ 北上地区における放課後等デイサービスの新たな開設について

平成27年度はひだまり北上中央、平成28年度ではひだまり北上にこっこの開設を進めて参りました。令和2年度は同業他社との差別化を図るため、応用行動分析学に基づく個別支援の習得に努めました。現場での実践に努めました。

新施設の開設については、法人の内部留保財源だけでは難しい状況にあること、また、同業他社の参入が著しく現在静観している状況です。

⑥ 障害の有無に関係なくすべての人々が安心して暮らすことのできる地域社会の実現に向けた啓発事業の開催について

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、地域に向けた啓発事業の開催は実施しませんでした。

(2) 質の高いサービスができる人材の育成に向けて

① 職員構成による研修委員会等の企画に基づく計画的な人材育成

毎月、各事業所において研修委員が中心となり研修テーマを定め内部研修を実施しました。また、リモートによる職員全体研修として応用行動分析学研修を2回、指談研修を3回行いました。

② 新任・中堅・リーダー・管理者等のキャリアパスに対応した人材育成と評価

令和2年度は、新人職員研修を入社時期に合わせて2回実施しました。しかしながら、1年を通じて新人職員研修、中堅職員研修、チームリーダー研修、管理者研修等、4研修の実施には至りませんでした。

評価については、年2回の面接評価にて順当に進めている状況です。

③ 人権擁護、虐待防止、災害等に対する取り組み

虐待防止委員会が中心となり、毎月「人権擁護に係る自己チェック表」を作成しています。不適切な支援と疑われる案件の発生は少なくなっているものの、未だ改善に繋がっていないのが現状です。令和3年度は、外部講師による研修を予定しています。

また、各事業所において火事・地震・水害を想定した避難訓練を年に4回実施

しています。

④ 保育士・社会福祉主事・介護福祉士等専門資格等の取得支援

令和2年度の国家資格合格者は社会福祉士2名、言語聴覚士1名でした。

また、民間資格は自閉症スペクトラム支援士4名のみでまだまだ専門性の資質向上に係る支援には至っておりません。今後、人材難と言われる情勢の中、他法人と同様に基礎資格、国家資格等に係る経費は法人負担に転化していく必要があります。

・資格取得状況 (令和3年3月31日現在)

福祉関連資格	人数(名)	医療・教育関連資格	人数(名)
(国)保育士	14	(国)看護師	1
(国)社会福祉士	6	准看護師	2
(国)介護福祉士	9	教員免許	5
(国)精神保健福祉士	1	幼稚園教諭	1
社会福祉主事	10		
ヘルパー2級	7	全職員数	89
介護職員初任者研修	4	資格保有率	68.5%
施設福祉士	1	国家資格保有率	34.8%
基礎資格なし	28		

*複数保持者については人員配置基準資格を優先し記載

⑤ サービス提供を行う職員間のネットワーク化

月1回「管理者会議」を実施。また、管理者会議での内容を詳しく中堅職員で共有する「児童発達支援管理責任者・主任児童指導員会議」を月1回実施しています。

また、北上地区、江刺地区、水沢地区の事業所ごとに「エリア会議」を行い、地区内での情報共有と連絡調整を行っています。

⑥ 一人一研究に取り組み、職員の気付きを促す発表会の開催

令和2年度においては、ひだまり会保護者会、第三者委員に参加していただき、高い評価をいただきました。次年度においては新たに事業所ごとのグループ研究、個人発表の順位評価、報奨金を設定する等、さらなる研究体制の充実に努めていきます。

⑦ 医療的ケア等利用者の健康維持に向けた市内医療機関との連携

令和2年度は、奥州市自立支援協議会において「医療的ケア児等部会」が立ち上げられました。ひだまり水沢☆きらり所長が部会員として参加しています。医療福祉関係機関とつながりができました。

また、月2回衣川診療所から理学療法士を☆きらりに派遣いただき、利用者へのかかわり方について指導助言を受けております。

⑧ 保護者と共に学ぶ機会の提供

一人一研究発表会への保護者招待、職員研修においても保護者の参加等を促し、少しずつではありますが成果を得ています。また、令和2年度は新たに「全体研修 指談研修」を開催しました。☆きらりの利用者と保護者2名、全職員がともに学ぶ機会を創ることができました。

⑨ 日本自閉症スペクトラム学会全国大会への参加

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のため「第19回研究大会」は中止となりました。令和3年度は、オンライン・リモートによる第19回研究大会が予定されています。今後もスペクトラム学会との関係性を良好に保ちながら自閉症スペクトラム支援士の資格取得の推進に繋げていきたいと考えています。

(3) 適正な法人運営のための取り組み

① 内部統制の強化（内部監査の実施）

② 財務規律の強化（公認会計士による監査の実施）

③ 定款・諸規定・諸規則等の見直しと整備

監事による内部監査を、令和2年9月18日から10月8日に実施しました。氏家公認会計士による出納調査を、上半期・下半期・決算期に各1回実施しました。

④ 事業運営の透明性の向上（広報、ホームページを活用した情報公開と情報発信）

令和2年度においては、ホームページ等の再活用により、関係機関及び採用に係る効果が見られました。広報は年3回発行しました。

しかしながら、現在の閲覧媒体がスマートフォン及びSNS主体になりつつあり、今後、ホームページはそれら媒体に合わせる必要があります。

III. 理事会・評議員会行事等の開催状況

1. 役員等の状況

定款上の定数（理事：6人、監事：2人、評議員：8人）

(1) 理事

役職名	氏名	職業・会社名等	役員の資格等 (該当する欄に○)					役員資格等に係る職名等	現任期 平成 年 月 日 ～ 令和 年 月 日
			学識経験者	地域福祉関係者	施設長等	その他	財務		
理事長	高橋洋子	理事長		○				社会福祉事業を行う団体の役職員	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 3 年の定時評議員会 会終結の日
常務理事	大沼一裕	常務理事（平成 29 年 3 月 31 日 就任）		○				社会福祉事業を行う団体の役職員	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 3 年の定時評議員会 会終結の日
理事	菅原憲雄	社会福祉法人岩手ひだまり会ひだまり水沢横町管理者	○					医師、保健師、看護師等保健医療関係者	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 3 年の定時評議員会 会終結の日
理事	及川幸子	保護者会		○				親の会の民間社会福祉団体の代表者	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 3 年の定時評議員会 会終結の日
理事	尾山恒夫	社会福祉法人岩手ひだまり会多機能型事業所ひだまり水沢森下管理者			○			社会福祉事業を行う団体の施設長	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 3 年の定時評議員会 会終結の日
理事	千葉昭好	社会福祉法人岩手ひだまり会北上中央管理者			○			社会福祉事業を行う団体の施設長	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 3 年の定時評議員会 会終結の日
監事	及川章吉	社会福祉法人美楽会いこいの森施設長	○					公認会計士、税理士、弁護士等専門知識を有する者」	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 3 年の定時評議員会 会終結の日
監事	大谷直子	手をつなぐ育成会		○				親の会の民間社会福祉団体の代表者	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 3 年の定時評議員会 会終結の日

2. 評議員

氏名	職業 会社名	資格等 (該当する欄に○)	左記資格等に係る職名等	現任期 平成 年 月 日
----	-----------	------------------	-------------	-----------------

	等	学 識 経 験 者	地 域 福 祉 関 係 者	利 用 者	そ の 他	財 務		～ 令 和 年 月 日
小澤盛彌			○				社会福祉事業又は社会福祉関係の行政に従事した経験を有する者	平成29年4月1日 ～令和3年の定時評議員会終結の日
鎌田卓也	代表取締役・鎌田段ボール工業株		○				自治会、町内会、婦人会及び商店会等の役員	平成29年4月1日 ～令和3年の定時評議員会終結の日
古川守人			○				自治会、町内会、婦人会及び商店会等の役員	平成29年4月1日 ～令和3年の定時評議員会終結の日
千葉光夫	民生児童委員		○				民生委員・児童委員	平成29年4月1日 ～令和3年の定時評議員会終結の日
島津愛郎	社会福祉法人職員	○					社会福祉法人又は社会福祉関係行政に従事した経験を有する者	平成29年4月1日 ～令和3年の定時評議員会終結の日
千田光久	大学員教授	○					社会福祉法人又は社会福祉関係行政に従事した経験を有する者	平成29年4月1日 ～令和3年の定時評議員会終結の日
岩淵秀夫	団体職員	○					公認会計士、税理士、弁護士等専門知識を有する者」	平成29年4月1日 ～令和3年の定時評議員会終結の日
菊池恵美子	保護者会	○					社会福祉法人又は社会福祉関係行政に従事した経験を有する者	平成29年4月1日 ～令和3年の定時評議員会終結の日

3. 理事会・評議員会の開催実績

(1) 理事会

開催年月日	出席者/ 総 数	議題	欠席者	監事出席 有無

<p>令和2年 6月5日</p>	<p>—</p>	<p>令和2年度第1回理事会 報告 報告第1号 理事長及び常務理事の職務執行状況について 審議事項 議案第1号 令和元年度事業報告並びに決算について 議案第2号 経理規程の一部改正について 議案第3号 令和3年度定時評議員会への提案について 【書面評決】</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
<p>令和2年 9月30日</p>	<p>6/6</p>	<p>令和2年度第2回理事会 報告 報告第1号 理事長及び常務理事の職務執行状況について 審議事項 議案第1号 北上地区事業所運営規程の一部改正について 議案第2号 多機能型事業所ひだまり江刺岩谷堂就労継続支援B型施設外就労規則の制定について 議案第3号 職員給与支給規則の一部改正について</p>	<p>なし</p>	<p>大谷直子 及川章吉</p>
<p>令和2年 12月10日</p>	<p>6/6</p>	<p>令和2年度第3回理事会 報告 報告第1号 理事長及び常務理事の職務執行状況について 報告第2号 令和2年度業務監査報告について 審議事項 議案第1号 定款の一部改正について 議案第2号 評議員選任・解任委</p>	<p>なし</p>	<p>大谷直子 及川章吉</p>

		員会運営細則の一部改正について 議案第3号 評議員選任・解任委員の選任について 議案第4号 放課後等デイサービス運営規程の一部改正について 議案第5号 令和2年度第1次補正予算について 議案第6号 令和2年度第1回臨時評議員会の開催について		
令和3年 3月19日	6/6	令和2年度第4回理事会 報告 報告第1号 理事長及び常務理事の職務執行状況について 報告第2号 令和2年度期末賞与について 審議事項 議案第1号 令和3年度事業計画(案)並びに令和3年度収支予算(案)について 議案第2号 管理者の任命について 議案第3号 規程等の一部改正について 議案第4号 令和2年度第2回臨時評議員会の開催について	なし	大谷直子 及川章吉

(2) 評議員会

開催年月日	出席者/ 総数	議題	欠席者	監事出席 有無
令和2年 6月16日	—	定時評議員会 審議事項 議案第1号 令和元年度事業報告並びに決算について 【書面評決】	—	—

令和2年 12月18日	8/8	第1回臨時評議員会 審議事項 議案第1号 定款の一部改正について 議案第2号 令和2年度第1次補正予算について	なし	大谷直子 及川章吉
令和3年 3月30日	8/8	第2回臨時評議員会 審議事項 報告第1号 令和3年度事業計画(案)並びに令和3年度収支予算(案)について	なし	大谷直子 及川章吉

4. 理事会・評議員会の出席状況

(1) 理事会

役職	氏名	第1回	第2回	第3回	第4回
理事長	高橋 洋子	書面評決	○	○	○
常務理事	大沼 一裕	書面評決	○	○	○
理事	菅原 憲雄	書面評決	○	○	○
理事	尾山 恒夫	書面評決	○	○	○
理事	千葉 昭好	書面評決	○	○	○
理事	及川 幸子	書面評決	○	○	○
監事	大谷 直子	書面評決	○	○	○
監事	及川 章吉	書面評決	○	○	○

● 欠席

(2) 評議員会

役職	氏名	定時評議員会	第1回	第2回

評議員	小澤 盛彌	書面評決	○	○
評議員	鎌田 卓也	書面評決	○	○
評議員	古川 守人	書面評決	○	○
評議員	千葉 光夫	書面評決	○	○
評議員	島津 愛郎	書面評決	○	○
評議員	千田 光久	書面評決	○	○
評議員	岩淵 秀夫	書面評決	○	○
評議員	菊池恵美子	書面評決	○	○
監事	大谷 直子	-	○	○
監事	及川 章吉	-	○	○

● 欠席

5. 監査報告

(1) 岩手県社会福祉法人指導監査実施報告

実施月日	場所	監査者・対応者	指摘事項
令和2年度 実施なし			

(2) 法人定期監査実施報告

① 出納監査

四半期毎の出納状況・会計処理の監査

	監査名	月日	場所	監査人
1	令和2年度決算監査 令和2年度決算	令和3年5月26日	法人本部	監 事 大谷 直子 監 事 及川 章吉

※決算期が6月末までのため毎度をまたぎ実績報告

② 事業監査

監事内部統制質問書による監査

	調査・指導者	月日	場所	監査人
1	第1回事業監査	令和2年9月18日・23日・25日・28日・29日 10月1日・2日・8日	全事業所	監事 大谷 直子 監事 及川 章吉

③ 実地指導

実施月日	対象事業所	監査者・対応者	指摘事項
令和2年度 実施なし			

6. 主な事業内容

(1) 拠点数・事業数

市町村	地区	拠点数	社会福祉事業	公益事業	計
奥州市	水沢	4 拠点	5 事業	4 事業	9 事業
	江刺	3 拠点	4 事業	3 事業	7 事業
	胆沢	1 拠点	1 事業	1 事業	2 事業
北上市		2 拠点	5 事業	2 事業	5 事業
計		10 拠点	15 事業	10 事業	23 事業

(2) 社会福祉事業

① 児童福祉法サービス

市町村	地区	放課後等デイサービス事業	児童発達支援事業
奥州市	水沢	4 事業	1 事業
	江刺	3 事業	0 事業
	胆沢	1 事業	0 事業
北上市		2 事業	2 事業
計		10 事業	3 事業

② 障がい者総合支援法サービス

市町村	地区	事業名	事業数
奥州市	水沢	生活介護支援事業	2 事業
	水沢	相談支援事業	1 事業
	江刺	就労継続支援B型事業	1 事業
北上市		相談支援事業(休止中)	1 事業
計	4 地区		5 事業

(3) 公益事業

日中一時支援事業(奥州市・北上市・金ヶ崎町・矢巾町・福島市委託事業)

市	地区	事業名	事業数
奥州市	江刺	日中一時支援事業	3 事業
	水沢	〃	4 事業
	胆沢	〃	1 事業

北上市		〃	2 事業
計	4 地区		10 事業

(4) 事業所構成

基準日 令和3年3月31日

No.	事業所名	事業内容	事業内容(受託・補助事業・他)	令和元年度	令和2年度
1	ひだまり江刺桜木	放課後等デイサービス事業	奥州市障害者等日中一時支援事業 金ヶ崎町障害者等日中一時支援事業	8名 (兼1)	7名
2	多機能型事業所 ひだまり水沢森下 (児童課・生活介護課)	放課後等デイサービス事業	奥州市障害者等日中一時支援事業 金ヶ崎町障害者等日中一時支援事業 福島市障害者等日中一時支援事業	8名 (兼1)	7名 (兼1)
		生活介護事業	奥州市障害者等日中一時支援事業 金ヶ崎町障害者等日中一時支援事業 矢巾町日中一時支援事業	7名 (兼1)	7名 (兼1)
3	多機能型事業所 ひだまり江刺岩谷堂 (児童課・就労課)	放課後等デイサービス事業	奥州市障害者等日中一時支援事業	7名 (兼1)	6名
		就労継続支援B型事業所		5名 (兼1)	4名 (兼1)
4	ひだまり江刺第二桜木	放課後等デイサービス事業	奥州市障害者等日中一時支援事業 金ヶ崎町障害者等日中一時支援事業	6名	7名
5	ひだまり水沢駅東	放課後等デイサービス事業	奥州市障害者等日中一時支援事業 金ヶ崎町障害者等日中一時支援事業	8名 (兼1)	9名 (兼1) (休1)
6	ひだまり水沢横町	放課後等デイサービス事業	奥州市障害者等日中一時支援事業 金ヶ崎町障害者等日中一時支援事業	7名	7名 (兼1)
		特定相談支援事業			
7	相談支援事業所 ひだまり	障害児相談支援事業 一般相談支援事業	奥州市障害者等相談支援事業 金ヶ崎町相談支援等事業	3名 (兼1)	3名

8	ひだまり水沢☆きらり	放課後等デイサービス事業 児童発達支援事業 生活介護事業		-	6名
9	ひだまり胆沢	放課後等デイサービス事業	奥州市障害者等日中一時支援事業 金ヶ崎町障害者等日中一時支援事業	6名 (兼1)	5名 (兼1)
10	ひだまり北上中央	放課後等デイサービス事業 児童発達支援事業	北上市日中一時支援事業	8名 (兼1)	8名 (休1)
11	ひだまり北上にこっと	放課後等デイサービス事業 児童発達支援事業	北上市日中一時支援事業	9名 (兼1)	8名
12	相談支援事業所 ひだまり北上	特定相談支援事業 障害児相談支援事業	北上市障害者等相談支援事業	休止中	休止中
13	法人本部	法人運営事業		役員2名	役員2名
				7名 (兼1) (休1)	8名 (兼2) (休1)
	計	89名	内 訳	役員2名	役員2名
				89名 (兼11) (休1)	92名 (兼8) (休3)

(5) 広報・ホームページ

①法人広報誌の発行

- ・発行回数 3回 9月 11月 1月
- ・発行部数 約700部 総発行部数 2,100部
- ・配布先 関係機関・高等学校・養護学校・小学校・中学校・児童センター・幼稚園・保育所等

②各事業所おしらせ版の発行

- ・配布先 利用者・保護者・その他
- ・発行回数 各事業所 12回 総発行部数 3,024部

③ホームページ

- ・開設日 平成23年1月27日
- ・閲覧数 今年度296,424回
前年度241,395回 年55,029回
- ・事業所見学案内や新卒採用情報等、採用関係に力を入れた。
また、行事ごとの写真掲載をこまめに行い情報発信に努めた。

(6)補助金・助成金等実績

団体名	金額	事業名
岩手労働局	600,000	特定求職者雇用開発助成金
奥州市社会福祉協議会	50,000	地域歳末たすけあい地域福祉活動費配分金事業
計	650,000円	

(7)寄付金実績

①寄付金品収益明細 2件

月日	個人・団体名	寄付目的	寄付金額
令和2年12月14日	匿名	法人事業へ	30,000円
令和3年3月3日	小原自動車工業(株)様	法人事業へ	500,000円
計	前年度620,000円		530,000円

②寄付物品収益明細 29件 前年度30件

令和2年度 寄附金品一覧					
No.	日付		寄附者	寄附目的	寄附物品
	月	日			
1	4	1	(株)公楽 ウィンズ奥州	法人	お菓子詰め合わせ 250個
2	4	16	匿名	法人	絵画 11枚
3	4	20	渡邊 直香	北上中央	ハローキティ ままごとセット
4	5	7	菅原 能興	法人	おもちゃ
5	6	3	佐々木 雄悦	法人	座位保持椅子、おもちゃ
6	6	27	三上 美智子	北上中央	アルコール除菌シート 100枚入り 3個
7	7	13	北上市社会福祉協議会	北上中央	ハンドソープ (本体1本、詰め替え3本)

8	8	7	伊藤 和宜	北上中央	絵本 150 冊
9	8	12	高橋 結	北上中央	不織布マスク 1 箱、アルコールジェル、除菌 ウェットシート
10	8	26	㈱菅原組	法人	タオル 大量
11	8	31	ライオンズクラブ	北上地区 事業所	J2 観戦優待券 10 枚
12	10	5	川村 修	法人	ヤマハ電子オルガン、シャープ電子レンジ、 日立掃除機
13	11	9	伊藤 一美	北上中央	かぼちゃ (南部一郎) 50 個
14	11	11	匿名	法人	木製座卓 1 脚
15	11	12	佐藤 則子	北上中央	ホームベーカリー
16	11	26	匿名	法人	木製座卓 1 脚
17	12	8	㈱ホソカワ	法人	お菓子詰め合わせ 275 個
18	12	10	㈱公楽 ウインズ奥州	法人	お菓子詰め合わせ 250 個
19	12	14	及川 敦	法人	ウェス 5 枚
20	12	18	かぎや菓子舗	北上中央	クリスマスケーキ 4 個
21	12	23	千葉 由美子	☆きらり	座位保持椅子
22	12	25	三上 美智子	北上中央	アルコール除菌シート 100 枚入り 3 個
23	1	5	菊池宗力、真紀	☆きらり	チョーク絵画
24	1	15	匿名	北上中央	棚 3 台
25	3	1	佐藤 実	北上中央	節分お菓子詰め合わせ 30 個
26	3	10	岩間 透安	法人	プラレール、ブロック、ドミノ
27	3	18	匿名	胆沢	ブランケット
28	3	19	匿名	胆沢	本棚、ちゃぶ台
29	3	22	匿名	☆きらり	重心用座位保持椅子 2 台、歩行器 1 台

令和 3 年 6 月 9 日

社会福祉法人 岩手ひだまり会
理事長 高橋 洋子

令和 2 年度

I. 事業経営

1. 児童通所支援施設

社会福祉法人岩手ひだまり会

令和2年度ひだまり江刺桜木事業報告

I. 事業報告

ひだまり江刺桜木は令和3年3月末時点で、放課後等デイサービス登録者数14名1日平均利用7.7名と、前年度と比較して約1名減となりました。利用者はいずれ卒業していく事を考えると、新規利用者をどう獲得していくかが今後大きな課題となってきています。

利用者一人ひとりの特性・年齢・成長に合わせ、各児の個別支援計画に沿った取り組みを中心に取り組んできました。そこには職員の思いだけでなく、保護者の思いを取り入れながら将来に繋がる支援をしてきました。その結果が、令和2年度の保護者に向けたアンケート調査にも表れているのだと思います。「放課後等デイサービス計画の作成」については100%の評価をいただく事ができました。また、「通所を楽しみにしているか」でも100%の評価を頂きました。そんな中、「支援に満足しているか」に対しては82%という評価で、18%の保護者の方が支援に対しては満足するまで達していないという結果を職員一人一人が受けとめ、考え、検討して、支援の向上を目指していかなければならないと思います。

また、年4回行われている避難訓練に対して18%の保護者の方が「どちらともいえない」との回答からは、月1回発行している広報や連絡帳での保護者への周知の力（発信力）の弱さが表れているのだと思います。避難訓練に限らず、情報を発信していく事も必要となってきています。

令和2年度は新型コロナウイルスにより計画していた事が思うようにできなかった1年でした。厳しい状況が続く中ですが、利用者・保護者に対し将来に繋がる為の支援により一層努めていきたいと思っています。

1. 成果の詳細

利用者一人ひとりに沿った個別支援計画を基に、繰り返し取り組む事で小さな歩みでしたが、成果となって表れたと考えます。また、個々の個性を大事にすることが通所の楽しみへと繋がっているものと考えます。

2. 課題の詳細と改善目標

・令和2年度に掲げていた情報収集に併せて、情報発信にも努めていきます。発信する事によって、サービスの提供・職員の資質等を見直す事へと繋がり、質の向上へと繋がっていきえると考えます。

3. 事業内容

(1) 放課後等デイサービス事業

- ・対象者 障がい児
- ・利用定員 10名
- ・活動日 日曜日から土曜日

(但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)

- ・活動時間 月曜日から金曜日は、10時から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

(2) 日中一時支援事業

- ・対象者 障がい児・者・利用定員 なし
- ・活動日 毎日 (但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、午前7時30分から午後6時まで
土曜日、日曜日、祝日は、午前10時から午後4時まで

4. 職員構成

職員構成	基準	専従	兼務	計
管理者	1		1	1
児童発達支援管理責任者	1	1		1
保育士		1		1
児童指導員	2	3	(1)	3
指導員		1		1
合計	4	6	1 (1)	7 (1)

5. 利用者の状況

(1) 放課後等デイサービス

区分	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	計
男				1	1			3	1	1	1		8
女					2	1		1	1				5
計				1	3	1		4	2	1	1		13

(2) 日中一時支援事業

区分	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳
男	1					1			3	1	1	1	
女						2	1		1	1			
計	1					3	1		4	2	1	1	

区分	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	計
男			2	1			1		1	13
女				2		1	1			9
計			2	3		1	2		1	22

(3) 地域別利用者数

区分	奥州市 水沢	奥州市 江刺	奥州市 前沢	奥州市 胆沢	北上市	遠野市	金ヶ崎町	その他
男	3	9					1	
女	1	7					2	
計	4	16					3	

(4) 障害種別（重複あり）

区分	発達障害	知的障害	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	その他	計
男	6	3					
女	2	3			0		
計	8	6			0		14

(5) 指標該当区分

平成 30 年度障害福祉サービス等報酬改定において、放課後等デイサービスの利用児童については新たな指標が設けられ、指標により判定された重度の区分に該当する児童の割合に基づき、放課後等デイサービス事業所の基本報酬が決まることとなりました。支給決定（更新含む）の際に、指標該当の有無を判定することとなり、以下の(1)または(2)に該当する場合は、受給者証に「指標該当児」と記載します。
(1)「食事」、「排せつ」、「入浴」、「移動」のうち 3 以上の日常生活動作について、全介助が必要(2)コミュニケーション等の項目ごとに算出した点数の合計が 13 点以上の児童が該当児童となります。

区分	該当	非該当	登録児童	比率（該当/登録児童）
男	7	1	8	87.5%
女	5	0	5	100%
計	12	1	13	92.3%

(6) 肢体不自由分類

区分	周辺児	重症心身障害児	医療的ケア児	計
男	0	0	0	0
女	0	0	0	0
計	0	0	0	0

6. 実施状況

(1) 放課後等デイサービス

月	開所日数	延人数	平均利用者数	送迎回数
4月	28	212	7.6	202
5月	31	210	6.8	224
6月	30	264	8.8	312
7月	31	239	7.7	238

8月	27	205	7.6	154
9月	30	232	7.7	253
10月	31	252	8.1	293
11月	30	223	7.4	246
12月	29	225	7.7	247
1月	28	210	7.5	178
2月	28	213	7.6	231
3月	31	249	8.0	195
合計	354	2734	7.7	2773

(2) 日中一時支援事業

月	開所日数 (日)	延人数 (人)	平均利用者数 (人)	送迎回数 (回)
4月	28	75	2.7	0
5月	31	84	2.7	0
6月	30	85	2.8	0
7月	31	81	2.6	0
8月	27	67	2.5	0
9月	30	78	2.6	0
10月	31	87	2.8	0
11月	30	73	2.4	0
12月	29	60	2.1	0
1月	28	62	2.2	0
2月	28	74	2.6	0
3月	31	80	2.6	0
合計	354	906	2.5	0

(3) 通学支援事業 (朝送迎)

月	提供日数 (日)	延人数 (人)	平均利用者数 (人)	送迎回数 (回)
4月	15	93	6.2	15
5月	17	87	5.1	17
6月	22	120	5.5	22
7月	16	87	5.4	16
8月	8	42	5.3	8
9月	19	95	5.0	19
10月	22	110	5.0	22
11月	18	90	5.0	18
12月	18	96	5.3	18

1月	12	65	5.4	12
2月	17	94	5.5	17
3月	13	68	5.2	13
合計	197	1047	5.3	197

7. サービス提供内容

月	主な活動内容					
	日常生活訓練	社会適応訓練	運動・音楽・ レク活動	創作活動	季節行事・ その他	個別活動
4	・スキル遊び ・手洗い運動	・クリーン作戦 ・避難訓練 (地震)	・リトミック ・音楽療法 ・リズム体操	・読み聞かせ ・制作 (こいのぼり)		
5	・花のお世話 ・手指運動	・誕生会	・音楽療法 ・DVD鑑賞	・制作 (かたつむり) ・ぬりえ	・昼食会	
6	・花のお世話 ・手洗い運動	・くじ引き ・誕生会	・音楽療法 ・ゲーム遊び	・制作 ・読み聞かせ	・シャボン玉	
7	・花のお世話 ・手洗い運動	・ジュースを買いに 行こう ・避難訓練(火災)	・音楽療法 ・ゲーム遊び ・障害物リレー	・制作(七夕) ・塗り絵	・おやつ会 ・七夕祭り	
8	・昼食作り ・大掃除	・誕生会 ・くじ引おやつ	・音楽療法 ・リズム対応	・制作 (やどかり)	・ドライブ ・水遊び	
9	・手洗いチェッカー で汚れ取ろう ・花のお世話	・ボール運び ・避難訓練(水害)	・音楽療法 ・リズム体操 ・バランス運動	・制作 (キノコ) ・粘土遊び		
10	・手指運動 ・手洗運動	・クリーン作戦 ・ピー玉遊び	・音楽療法 ・リズム体操 ・ハロウィン	・制作 (ハロウィン) ・塗り絵		
11	・手洗運動	・誕生会 ・おやつバイキング	・リズム体操 ・映画 ・音楽療法	・制作 (サンタブーツ)	・昼食会	
12	・大掃除 ・手洗い運動	・クリーン作戦	・風船遊び ・リズム体操	・制作(正月)	・ミニクリスマス 会	

1	・昼食作り ・手洗い運動	・誕生会 ・	・ボール転がし ・音楽療法	・紙芝居 ・制作（節分）	・書初め ・みずき飾り	
2	・手洗い運動 ・	・避難訓練 (地震からの火災) ・お買い物遊び	・ゲーム遊び ・音楽療法 ・風船遊び	・制作 (ひな祭り) ・DVD鑑賞	・節分	
3	・手洗い運動	・クリーン作戦 ・グループ活動 (外食)	・音楽療法 ・DVD鑑賞	・スタンプワーク ・スクラッチア ト	・ひなまつり ・進級を祝う会	

8. ひやりはっと・事故・苦情受付件数

(1) ひやりはっと・事故

ひやりはっとについては利用者の予期せぬ行動、突発的行動がほとんどでした。突発的とはいえ利用者を理解し、状況を把握する事で回避できた事例もありました。現場検証を行い、職員間での配慮を検討し周知しています。事故について車両事故の他に、利用者の飛び出しが1件ありました。命の危険へと繋がる事例であり、一層気を引き締めて対応していきます。

月	ひやり・はっと	事故	事故発生率 (事故/ひやりはっと×100)
4月	3件	0件	0%
5月	1件	1件	100%
6月	0件	1件	0%
7月	0件	0件	0%
8月	0件	0件	0%
9月	2件	0件	0%
10月	2件	0件	0%
11月	0件	0件	0%
12月	2件	0件	0%
1月	1件	1件	100%
2月	0件	0件	0%
3月	3件	0件	0%
計	14件	3件	21.4%

(2) 要望・苦情等

月	要望	苦情	不適切と疑われた支援
4月	0件	0件	0件
5月	0件	0件	0件
6月	0件	0件	0件
7月	0件	0件	0件
8月	0件	0件	0件
9月	0件	0件	0件
10月	0件	0件	0件
11月	0件	0件	0件
12月	0件	0件	0件
1月	0件	0件	0件
2月	0件	0件	0件
3月	0件	0件	0件
計	0件	0件	0件

II. 諸会議・職員研修の開催

1. 会議実施内容

(1) 事業所内会議

①職員会議

毎月1回開催し、各会議の報告、利用者状況の確認、ひやりはっつの原因・対策検討、伝達研修、活動計画の確認と周知、次月の業務確認等を行いました。更に、事業所内研修に取り組みました。

②個別支援会議

個別支援会議、ケース検討会を随時開催し、統一した支援方法の確認を行いました。特に身辺自立やコミュニケーション支援に力を入れた内容で取り組みました。

2. 職員研修実施状況

令和2年度においては外部研修への参加は少なく、オンラインと今までとは形態を変えた研修となりました。今後も状況に合わせた形をとりながら、職員各自のスキルにあった研修への参加を目指していきます。職場内研修では、日々自分達に関わる職務についての研修に重点を置いて取り組みました。また、特定の職員だけでなく、各職員が調べ伝達するという形をとる事で、意識を深く持って取り組む事ができました。

(1) 職場内研修

月	テーマ	内容
4月	・令和2年度事業計画について ・虐待防止マニュアルについて	・事業計画書を使用しての伝達研修 ・マニュアルの読み合わせ
5月	放課後等デイサービス・日中一時支援事業について	・契約書、重要事項説明書、サービス形態について伝達研修
6月	リスクマネジメントについて	・リスクマネジメントについて参加者で話し合い
7月	虐待防止・身体拘束禁止について	・人権擁護の取り組みの確認
8月	接遇について	・利用者・保護者への対応について確認
9月	個別支援計画について	・個別支援計画作成・モニタリングの取り組み・流れについて
10月	感染症予防について	・感染症の知識と対応について
11月	交通事故防止	・交通安全思想・運転心構え・交通規則 ・車両整備（点検）
12月	障がい理解	・様々な障がいの特性について知る、学ぶ
1月	利用者支援について	・専門的な支援に関して職員からの伝達研修
2月	家族支援について	・資料を基に職員間で検討し対応について確認
3月	非常災害対策について	・事業所での避難場所や対策について

(2) 職場外（派遣）研修

月	研修名	主催
11月	・令和2年度サービス管理責任者基礎研修	・一般社団法人岩手県社会福祉会/岩手県保健福祉部障がい保険福祉課
1月	・令和2年度 発達障がい基礎研修 ・感染症対策オンライン研修	・岩手県発達障がい者支援センター ・厚生省社会・援護局オンライン研修

Ⅲ. 防災関係

防災避難訓練実施内容

実施日	重点目標	想定	参加者数
4月16日(木)	危険箇所の点検 避難経路の確認 利用者名簿の確認 非常持出の点検	東日本大震災規模 による災害	利用者 13名 職員 6名
7月18日(土)	消火器の点検 避難経路の点検 通報訓練	コンロからの火災	利用者 10名 職員 5名
9月25日(金)	迅速な避難 情報収集	北上川氾濫による 浸水	利用者 8名 職員 5名
2月22日(月)	消火器の点検 避難経路の点検 通報訓練	地震からの火災	利用者 6名 職員 4名

令和3年5月12日

ひだまり江刺桜木

所長 佐々木 幾久美

令和2年度ひだまり江刺岩谷堂児童課事業報告

I. 事業報告

児童課の利用状況はR3.3月時点、登録者数20名(日中一時含め)1日平均利用8.8名でした。年度内に4名の利用者が法人内他事業所に移行したことに加え、新規利用希望者が少なかったこと等から利用者減少となりました。事業所として、利用者獲得に向けた努力が足りなかったことを反省しています。しかし、日中一時では、未就学の利用者を受け入れ、早期支援に取り組むことが出来たことは良かったと感じています。

日々の支援では、個別目標の経過を統一見解で把握していけるよう記録し、振り返りを行いながらスキルアップを図りました。活動では昨年度同様に「音遊び」に取り組んでいます。使用する楽器や楽譜等レベルアップして取り組みましたが、公の場で発表する機会がなくとても残念です。また、新型コロナウイルスの流行により、活動に制限がかかることもありましたが、後半には感染対策を行いながら、外部機関に依頼し、ニュースポーツ体験を計画するなど利用者が楽しく参加できるよう、内容を工夫しました。

保護者との関わりは、定期面談や懇談会は実施せず、ご要望時に適切な対応に努め、必要に応じ、感染対策をしながら家庭訪問も実施しました。毎年実施しているアンケート調査は、保護者への周知不足のため回収率50%となってしまいました。回収されたアンケート評価では事業所の支援に概ね満足をしている結果となりましたが、コロナ禍においての情報発信を強化していくことは課題です。

安定した支援提供を行うために支援体制の見直しや環境整備を行うこと、新規利用者獲得に向けた取り組みを強化していきたいです。

地域の児童、生徒との交流の機会はありませんでしたが、隣家との関係性はこれまで以上に深まったと感じた年でした。

以上のことをまとめ次年度はコロナ禍における支援体制の構築、関係機関との連携強化を徹底し、利用者・保護者に選ばれる事業所を目指していきたいと考えております。

1. 成果の詳細

- ・活動内容に工夫を凝らし、室内運動や制作等初めての活動を取り入れ楽しく参加していただくことが出来ました。
- ・日中一時支援において、未就学児の受け入れをすることで、ご家族のニーズに応えることが出来ました。
- ・クリスマスコンサートの開催はありませんでしたが、ツジヤマガクさんとの交流を継続させることができました。(ツジヤマさん来所)

2. 課題の詳細と改善目標

- ・年齢や成長等個々の状態に合わせた専門性の高い支援提供が必要です。利用者が楽しく通所し、そして保護者に安心して選んでいただける事業所を目指し、職員の資質向上を目指します。

- ・新規利用者獲得の情報収集がうまくできていない状況です。相談支援専門員と連携を取り、情報収集に努めます。(保育所・幼稚園との連携)
- ・事業所の活動内容を広く知っていただくよう保護者に向けた情報発信を強化するとともに、ご家族の声を聞き取り、ニーズに応えられる体制づくりに努めます。
- ・コロナ禍における活動の工夫に努め、できる範囲で地域との交流を図っていきます。

3. 事業内容

(1) 放課後等デイサービス事業

- ・対象者 障がい児
- ・利用定員 10名
- ・活動日 日曜日から土曜日
(但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、10時から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

(2) 日中一時支援事業

- ・対象者 障がい児・者・利用定員 なし
- ・活動日 毎日(但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、7時30分から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

4. 職員構成 (R2. 3. 31 現在)

職員構成	基準	専従	兼務	計
管理者	1		1	1
児童発達支援管理責任者	1	1		1
保育士		1		1
児童指導員	2	4		4
指導員				
合計	4	6	1	7

5. 利用者の状況 (R3. 3. 31 現在)

(1) 放課後等デイサービス

区分	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	17歳	計
男	0	1	2	2	2	1	1	0	0	1	10
女	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	5
計	1	4	2	3	2	1	1	0	0	1	15

(2) 日中一時支援事業

区分	4歳	5歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	17歳	20歳	計
男	0	2	0	1	2	2	1	1	0	0	1	0	10
女	0	0	1	3	0	1	0	0	0	0	0	1	6
計	0	2	1	4	2	3	1	1	0	0	1	1	16

(3) 地域別利用者数(日中一時含)

区分	奥州市 水沢	奥州市 江刺	奥州市 前沢	奥州市 胆沢	北上市	遠野市	金ヶ崎町	その他
男	3	9						
女	0	5						
計	3	14						

(4) 障害種別(重複あり)

区分	発達障害	知的障害	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	その他	計
男	7	8		1		0	16
女	3	3		0		2	8
計	10	11		1		2	24

(5) 指標該当区分(更新の関係上、3月1日時点の人数記載となります。)

平成30年度障害福祉サービス等報酬改定において、放課後等デイサービスの利用児童については新たな指標が設けられ、指標により判定された重度の区分に該当する児童の割合に基づき、放課後等デイサービス事業所の基本報酬が決まることとなりました。支給決定(更新含む)の際に、指標該当の有無を判定することとなり、以下の(1)または(2)に該当する場合は、受給者証に「指標該当児」と記載します。

(1) 「食事」、「排せつ」、「入浴」、「移動」のうち3以上の日常生活動作について、全介助が必要

(2) コミュニケーション等の項目ごとに算出した点数の合計が13点以上の児童が該当児童となります。

区分	該当	非該当	登録児童	比率(該当/登録児童)
男	8	3	11	73%
女	3	2	5	60%
計	11	5	16	69%

(6) 肢体不自由分類

区分	周辺児	重症心身障害児	医療的ケア児	計
男	0	0	0	0
女	0	0	0	0
計	0	0	0	0

6. 実施状況

(1) 放課後等デイサービス (10月より日曜臨時休業)

月	開所日数/日	延人数/人	平均利用者数/人	送迎回数/回
4月	28	292	10.4	243
5月	31	266	8.6	271
6月	30	289	9.6	283
7月	31	279	9.0	210
8月	27	205	7.6	126
9月	30	239	7.8	224
10月	28	259	9.2	244
11月	25	221	8.8	202
12月	25	218	8.7	178
1月	24	191	7.9	97
2月	24	208	8.7	199
3月	27	238	8.8	176
合計	330	2905	8.8	2453

(2) 日中一時支援事業

月	開所日数/日	延人数/人	平均利用者数/人	送迎回数/回
4月	28	8	0.3	1
5月	31	11	0.4	0
6月	30	12	0.4	0
7月	31	38	1.2	0
8月	27	39	1.4	0
9月	30	32	1.1	0
10月	28	28	1.0	0
11月	25	28	1.1	7
12月	25	24	0.9	14
1月	24	14	0.6	0
2月	24	18	0.8	0
3月	27	16	0.6	0
合計	330	268	0.8	22

(3) 通学支援事業 (朝送迎)・・・【対象者なし】

7. サービス提供内容

スキル(個別支援)は週毎にその経過を職員間で確認し、ステップアップのタイミングや支援内容の検討を重ね、取り組みました。新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、自粛した活動もありました。(昼食づくり・外出活動等)

月	主な活動内容					
	日常生活訓練	社会適応訓練	運動・音楽・ レク活動	創作活動	季節行事・ その他	個別活動
4	昼食作り		音楽療法・音遊び ひだまりレース リズム体操・ゲーム	制作(こどもの日) 母の日プレゼント	誕生会 お花見	スキル 当番活動
5		買い物遊び 避難訓練 クリーン作戦	音楽療法・音遊び リズム体操	制作	誕生会	スキル 当番活動
6		クリーン作戦 グループ遊び 思い出ニュース	音楽療法・音遊び レクリエーション リズム体操・読書	父の日プレゼント プリント		スキル 当番活動
7		避難訓練 思い出ニュース 買い物体験	音楽療法・音遊び 運動・手探りゲーム レクリエーション	制作(七夕) プリント	七夕まつり	スキル 当番活動
8	おやつ作り おやつバイキング	昼食会 グループ遊び クリーン作戦	音楽療法・音遊び DVD鑑賞・読書 レクリエーション	制作 プリント	誕生会	スキル 当番活動
9	おやつバイキング	思い出ニュース SST訓練	音楽療法・音遊び 運動・ゲーム	制作(敬老の日)	誕生会	スキル 当番活動
10		スピーチ 避難訓練	音楽療法・音遊び 読書・散歩 レクリエーション	制作(ハロウィン) ハンドクラフト (マスク)	誕生会 ハロウィンパ ーティー	スキル 当番活動
11	おやつ作り	昼食会 思い出ニュース	音楽療法・音遊び 読書・散歩 レクリエーション	制作(クリスマス)	誕生会	スキル 当番活動
12		クリーン作戦 SST訓練 買い物体験	音楽療法・音遊び レクリエーション ニュースポーツ体験	制作(正月飾り) 年賀状作り 制作(消しゴム)	クリスマス会 誕生会	スキル 当番活動
1	おやつバイキング	避難訓練 思い出ニュース 手洗い運動	音楽療法・音遊び イスワンレース 伝言ゲーム他	制作 塗り絵(節分) プリント	誕生会 正月遊び	スキル 当番活動
2	おやつバイキング	クリーン作戦 手洗い運動	音楽療法・音遊び レクリエーション 読書・運動	制作(雛飾り) 塗り絵	節分 誕生会	スキル 当番活動

3	くじ引きおやつ	子ども会議	音楽療法	スクラッチアート	卒業・進級を	スキル
		思い出ニュース	読書・プリント	制作	祝う会	当番活動
		買い物体験	レクリエーション			
		安全講習会	リズム体操			

8. ひやりはっと・事故・苦情受付件数

(1) ひやりはっと・事故

今年度の事故報告は1件。職員の不注意による車両の接触事故でした。

ひやりはっとでは、危険個所の確認や早い発見で対処できた案件が数件ありました。

月	ひやり・はっと	事故	事故発生率 (事故/ひやりはっと×100)
4月	3件	0件	0%
5月	1件	0件	0%
6月	1件	0件	0%
7月	1件	0件	0%
8月	0件	0件	0%
9月	1件	0件	0%
10月	2件	1件	50%
11月	0件	0件	0%
12月	0件	0件	0%
1月	1件	0件	0%
2月	0件	0件	0%
3月	2件	0件	0%
計	12件	1件	8%

(2) 要望・苦情等

月	要望	苦情	不適切と疑われた支援
4月	0件	0件	0件
5月	0件	0件	0件
6月	0件	0件	0件
7月	0件	0件	0件
8月	0件	0件	0件
9月	0件	0件	0件
10月	0件	0件	0件

11月	0件	0件	0件
12月	0件	0件	0件
1月	0件	0件	0件
2月	1件	0件	0件
3月	0件	0件	0件
計	1件	0件	0件

II. 諸会議・職員研修の開催

1. 会議実施内容

(1) 事業所内会議

①職員会議

毎月1回開催し、各会議の報告、ひやりはっとの報告と今後の対応の周知、次月の業務・行事の確認等を行いました。更に、事業所内研修として、年間計画に基づく研修や外部研修の伝達等、日々の支援に活かす取り組みを行いました。

②個別支援会議

個別支援会議、ケース検討会を随時開催し支援方法の確認を行いました。

利用児童の障害特性を理解するためのアセスメントや情報収集に努め、適切な支援ができるよう職員間の統一を図りました。その結果、一貫した支援に繋げることができました。

2. 職員研修実施状況

毎年、定期的実施するよう計画してきたAED講習を今年度は実施することが出来ませんでした。外部研修については、新型コロナウイルスの流行に伴い、機会こそ少なかったのですが、後半はオンラインを活用し、参加することができました。

(1) 職場内研修

月	テーマ	内容
4月	令和2年度事業運営について	事業計画書読み合わせ
5月	メンタルヘルスについて	資料を基にした研修
6月	感染症・食中毒とその対応	マニュアルの読み合わせ
7月	(1)アンガーマネジメント (2)消火訓練	(1)資料を基に研修 (2)消防署立ち合い避難訓練
8月	保護者への接遇	資料を基に研修
9月	虐待防止・身体拘束禁止について	マニュアルの読み合わせ・資料を基に研修
10月	苦情解決について	マニュアルの読み合わせ
11月	(1)事故防止と事故発生時の対応 (2)伝達研修	(1)マニュアルの読み合わせ (2)参加者からの伝達
12月	サービス評価表を基にしたサービス改善	サービス評価表の集計
1月	ひやりはっとの傾向分析と対策検討	ひやりはっと事案を基に検討

2月	一人一研究事業所内発表	事業所代表の発表
3月	(1)放課後等デイサービスについて (2)虐待に関する件	(1)ガイドラインの読み合わせ (2)チェックシートの確認

(2) 職場外（派遣）研修

月	研修名	主催
9月	令和2年度サービス管理責任者基礎研修講義（Web）	岩手県社会福祉協議会
11月	(1)令和2年度サービス管理責任者基礎研修演習（Web） (2)社会福祉法人経営青年会オンラインセミナー	(1)岩手県社会福祉協議会
2月	新しい子どもたちを迎える前に職員としてしておくべきこと・配慮すべき環境と支援（Web）	ウェビナー
3月	感染症対策オンライン研修	

Ⅲ. 防災関係

防災避難訓練実施内容（児童課・就労課合同）

実施日	重点目標	想定	参加者数
5月26日(火)	・迅速な避難 ・的確な通報	東日本大震災規模 (震度6)	利用児・者 20名 職員 10名
7月28日(火)	夏季における火災発生時の避難誘導及び初期消火訓練が迅速且つ円滑に出来るようにする。	消防署立会 火災（1F 畳スペース近くのコンセントより出火）	利用児・者 19名 職員 10名
10月20日(火)	・迅速な避難 ・情報収集	大雨による河川の氾濫 ・注意情報発令 ・避難準備・高齢者等避難開始発令	利用児・者 19名 職員 8名
1月14日(木)	冬季における火災発生時の避難誘導及び初期消火訓練が迅速且つ円滑にできるようにする。	1階畳スペース近くのコンセントより出火	利用児・者 14名 職員 9名

令和3年5月12日

ひだまり江刺岩谷堂
所長 菊池 美紀

令和2年度ひだまり江刺第二桜木事業報告

I. 事業報告

・ひだまり江刺第二桜木は平成28年4月に開設され、今年で5年目となりました。放課後等デイサービス利用登録者数(令和3年3月現在)は21名となり、前年度に比べると1名減少しております。しかし、1人当たりの利用日数が増えた事により前年度の利用者平均が4.8名に対し、令和2年度の利用者平均が7.1名と1日平均2.3名増加となりました。また、日中一時支援事業のみの19歳以上の利用登録者数は8名となりました。

新規利用者獲得の為、利用者の受け入れの際、情報収集を行いました。また、利用回数の少ない利用者へ活動内容を具体的に説明し、利用者が意欲的に取り組める内容を職員間で検討しました。その結果、前年度に比較し徐々に増加の結果に繋がりました。

令和2年度の保護者向けアンケートでは、放課後等デイ利用の保護者16名(アンケート実施月の利用登録者数)に対し、16名の回答をいただき回収率は100%でした。また、そのうち「事業所の支援の満足度」に関しましては16名中14名の保護者の方から満足という評価をいただきました。しかし、一方で2名の方は「どちらともいえない」「いいえ」と言う評価でした。その結果を受け事業所での取組みや環境整備、工夫しているところ、支援内容等を「ひだまり江刺第二桜木だより」で発信をしています。

今後も、保護者および相談支援事業所や関係機関、また地域と連携をとりながら事業運営に取り組みたいと考えております。

また、令和2年1月に新型コロナウイルスが発生したことを受け、令和2年度は感染拡大防止の為、利用者へのあらゆる安全対策を講じてきました。

1. 成果の詳細

放課後等デイサービス利用日数が増えた要因として、ひだまり江刺第二桜木で行っている活動がどのような成果と結びつくのか将来を見据えた支援の意味などを保護者や利用者へ丁寧に説明を行った事が考えられます。また、職員の離職もなく、人材育成も継続して取り組めた為、支援の質を高められました。

2. 課題の詳細と改善目標

令和3年度には新規利用者の予定があり、1日の利用者数が増える見込みです。1フロアという限られた環境の中でどのように過ごすかに課題があります。また、令和2年度はコロナ感染予防の為、地域活動が思うように出来なかった事も課題にあり、次年度は職員間で検討を行い地域活動を実行していく事を目標にします。また、成人の方の福祉サービス終了後の居場所について奥州市全体で考えていかなければいけないと痛感しております。

3. 事業内容

(1) 放課後等デイサービス事業

- ・対象者 障がい児 ・利用定員 10名 ・活動日 日曜日から土曜日
(但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、10時から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

(2) 日中一時支援事業

- ・対象者 障がい児・者 ・利用定員 なし
- ・活動日 毎日 (但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、午前7時30分から午後6時まで
土曜日、日曜日、祝日は、午前10時から午後4時まで

4. 職員構成

職員構成	基準	専従	兼務	計
管理者	1		1	1
児童発達支援管理責任者	1	1		1
保育士		1		1
児童指導員	2	3	(1)	3 (1)
指導員		1		
送迎員				
合計	4	6	1	7

5. 利用者の状況

(1) 放課後等デイサービス

区分	7歳	8歳	9歳	10歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	計
男	1	1	2	1	2	1	3	0	1	1	13
女	0	0	0	0	1	0	1	2	2	2	8
計	1	1	2	1	3	1	4	2	3	3	21

(2) 日中一時支援事業

区分	7歳	8歳	9歳	10歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	21歳	22歳
男	1	1	2	1	2	1	3	0	1	1	3	1
女	0	0	0	0	1	0	1	2	2	2	1	0
計	1	1	2	1	3	1	4	2	3	3	4	1

区分	23歳	24歳	26歳	計
男	0	0	0	17
女	1	1	1	12
計	1	1	1	29

(3) 地域別利用者数

区分	奥州市 水沢	奥州市 江刺	奥州市 前沢	奥州市 胆沢	北上市	金ヶ崎	計
男	5	7				1	13
女	3	4				1	8
計	8	11				2	21

(4) 障害種別（重複あり）

区分	発達障害	知的障害	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	その他	計
男	10	4		1		1	16
女	3	5		2	1	1	12
計	13	9		3	1	2	28

(5) 指標該当区分

平成30年度障害福祉サービス等報酬改定において、放課後等デイサービスの利用児童については新たな指標が設けられ、指標により判定された重度の区分に該当する児童の割合に基づき、放課後等デイサービス事業所の基本報酬が決まることとなりました。支給決定（更新含む）の際に、指標該当の有無を判定することとなり、以下の(1)または(2)に該当する場合は、受給者証に「指標該当児」と記載します。

(1)「食事」、「排せつ」、「入浴」、「移動」のうち3以上の日常生活動作について、全介助が必要(2)コミュニケーション等の項目ごとに算出した点数の合計が13点以上の児童が該当児童となります。

区分	該当	非該当	登録児童	比率（該当/登録児童）
男	8	5	13	61.5%
女	6	2	8	75%
計	14	7	21	66.7%

(6) 肢体不自由分類

区分	周辺児	重症心身障害児	医療的ケア児	計
男	0	0	0	0
女	1	0	0	1
計	1	0	0	1

6. 実施状況

(1) 放課後等デイサービス

月	開所日数	延人数	平均利用者数	送迎回数
4月	28	161	5.8	119
5月	31	155	5	109
6月	30	186	6.2	130
7月	31	200	6.5	89
8月	27	196	7.3	73
9月	30	220	7.3	138
10月	31	219	7.1	144
11月	30	200	6.7	121
12月	29	200	6.9	124
1月	28	196	7	78
2月	28	224	8	143
3月	31	292	9.4	118
合計	354	2,449	6.9	1,386

(2) 日中一時支援事業

月	開所日数(日)	延人数(人)	平均利用者数(人)	送迎回数(回)
4月	28	91	3.2	68
5月	31	98	3.2	69
6月	30	122	4.1	80
7月	31	116	3.7	95
8月	27	95	3.5	65
9月	30	102	3.4	71
10月	31	104	3.4	55
11月	30	99	3.3	47
12月	29	94	3.2	54
1月	28	87	3.1	59
2月	28	72	2.6	38
3月	31	98	3.2	49
合計	354	1,178	3.3	750

(3)通学支援事業（朝送迎）

月	提供日数（日）	延人数（人）	平均利用者数（人）	送迎回数（回）
4月	7	16	2.3	7
5月	7	18	2.6	7
6月	9	22	2.4	9
7月	6	14	2.3	6
8月	3	10	3.3	3
9月	7	20	2.9	7
10月	9	21	2.3	9
11月	7	21	3	7
12月	5	12	2.4	5
1月	3	9	3	3
2月	12	29	2.4	12
3月	5	10	2	5
合計	80	202	2.5	80

7.サービス提供内容

月	主な活動内容					
	日常生活訓練	社会適応訓練	運動・音楽・レク活動	創作活動	季節行事・その他	個別活動
4	・クリーン作戦 ・おやつバイキング	・就労体験 ・SST	・音楽療法 ・ゲーム ・体力作り	・制作(鯉のぼり) ・ぬりえ	・自己紹介 ・お祝い会 ・誕生会	・個別支援計画への取組み
5	・衣類たたみ ・クリーン作戦 ・おやつバイキング	・手指運動 ・パソコン ・SST	・ダンス ・体操 ・音楽療法	・折り紙 ・ぬりえ	・避難訓練 ・母の日のプレゼント作り	・個別支援計画への取組み
6	・選択活動 ・クリーン作戦	・就労体験 ・SST ・パソコン ・非常食体験	・リズム運動 ・ゲーム ・音楽療法	・写し絵 ・カレンダー作り	・誕生会	・個別支援計画への取組み
7	・スケジュール作成	・買い物体験 ・SST	・ストレッチ ・視覚ゲーム	・七夕制作 ・写真立て作り	・外出活動 ・誕生会	・個別支援計画への取組み

	・花の世話	・グループミー ティング	・体力作り ・音楽療法			
8	・昼食作り ・おやつパイ キング	・SST ・就労体験	・リズム体操 ・宝探し ・音楽療法	・十五夜制作 ・カレンダー制 作	・避難訓練	・個別支援計 画への取組み
9	・スキル（衣 類たたみ、ハ ンガーかけ）	・パソコン ・就労体験 ・SST	・体力づくり ・リズム体操 ・ラジオ体操	・デカルコマニ ー ・にじみ絵	・ドライブ	・個別支援計 画への取組み
10	・手指運動 （箸の練習） ・クリーン作 戦	・選択活動 ・就労体験 ・SST	・ゲーム遊び （玉入れ） ・体力づくり	・折り紙 ・ハロウィンの お菓子入れ制作	・ハロウィン パーティー	・個別支援計 画への取組み
11	・衣類たたみ ・手指運動 ・クリーン作 戦	・非常食体験 ・SST ・就労体験	・椅子取りゲー ム ・おやつゲーム	・ランタン作り ・カレンダー作 り	・感染予防指 導 ・避難訓練	・個別支援計 画への取組み
12	・大掃除 ・手指運動	・年賀状を書 く ・災害体験 ・昼食会	・風船パレー ・音楽療法 ・リズム体操	・共同制作（ク リスマスツリ ー） ・正月制作	・クリスマス 会	・個別支援計 画への取組み
1	・クリーン作 戦 ・手指運動	・買い物疑似体 験 ・昼食会話し合 い	・すごろく遊び ・けん玉遊び ・福笑い	・すごろく制作 ・福笑い制作 ・節分の豆入れ 作り	・みずき飾り ・書初め ・誕生会	・個別支援計 画への取組み
2	・手指運動 ・クリーン作 戦 ・おやつパイ キング	・SST ・パソコン ・就労体験	・体力づくり ・輪投げキャッ チ	・鬼の面制作 ・カレンダー制 作	・豆まき ・バレンタイ ン ・避難訓練	・個別支援計 画への取組み
3	・衣類たたみ ・クリーン作戦 ・手指運動	・SST ・就労体験 ・買い物体験 ・アンケート調 査	・手作り神経衰 弱 ・ちぎってパズ ル	・ひな祭り制作 ・マスクケース 作り ・共同制作 ・色紙作り	・卒業&進級 お祝いパーテ ィー	・個別支援計 画への取組み

8. ひやりはっと・事故・苦情受付件数

(1) ひやりはっと・事故

月	ひやり・はっと	事故	事故発生率 (事故/ひやりはっと× 100)
4月	0件	0件	0%
5月	1件	0件	0%
6月	1件	1件	100%
7月	5件	0件	0%
8月	1件	1件	100%
9月	1件	0件	0%
10月	1件	1件	100%
11月	0件	0件	0%
12月	1件	0件	0%
1月	2件	1件	50%
2月	0件	0件	0%
3月	1件	0件	0%
計	14件	4件	29%

(2) 要望・苦情等

月	要望	苦情	不適切と疑われた支援
4月	0件	0件	0件
5月	0件	0件	0件
6月	1件	0件	0件
7月	0件	0件	0件
8月	0件	0件	0件
9月	0件	0件	0件
10月	0件	0件	0件
11月	0件	1件	0件
12月	0件	0件	0件
1月	0件	0件	0件

2月	0件	0件	0件
3月	1件	0件	0件
計	2件	1件	0件

II. 諸会議・職員研修の開催

1. 会議実施内容

(1) 事業所内会議

①職員会議

毎月1回開催し、所長の方針、各会議の報告、利用者の状況など再認識し、情報の共有、活動の反省、次月の業務の確認・ヒヤリはつとの原因解明、研修の伝達を行いました。

②個別支援会議

個別支援会議、モニタリング会議を年に2回開催し、統一した支援方法の確認を行いました。特に、ソーシャルスキルに力を入れながら、職員間で情報を共有し支援に努めました。

2. 職員研修実施状況

令和2年度においては、コロナ禍の為、なかなか外部への研修に参加することが出来ませんでした。その為、内部研修に力を入れ伝達研修や読み合わせ等を行い学びの場を設けました。

(1) 職場内研修

月	テーマ	内容
4月	事業計画、運営方針について	事業計画および運営についての確認
5月	契約、重要事項説明書、サービス形態の概要について	通所受給者証の見方や内容の確認 日中一時決定通知書の料金や利用時間の確認
6月	発達障がいにおける環境の構造化について 障がいの理解と特性について	動画視聴 事業所における支援状況の検討と指導
7月	身体拘束・虐待防止マニュアルについて	身体拘束の同意書について 人権擁護チェック表の記入について
8月	夏休み中の事故防止研修(リスクマネジメント)	夏休み中に予測される事故について
9月	・非常時災害対策について ・接遇について	・火事、地震、水害における避難対策と緊急持ち出しバックの確認 ・一貫した対応と接遇のマナーについて
10月	事業所の運営と支援の振り返り	支援内容の振り返りと検討

11月	サービス評価表に基づくサービス改善の検討	サービス評価表の結果と検討意見、要望について
12月	感染予防対策について	感染予防マニュアルの読み合わせ 衛生管理、感染症対策について
1月	一人一研究の取組みについて	一人一研究についての説明、取り組む根拠の伝達
2月	・利用者支援について ・マネジメント研修①	・特性の理解（アセスメント）・環境設定・寄り添った支援 ・将来を見据えた支援・親支援・関係機関との連携 「ペップトーク 言葉かけ術」伝達研修（管理者・児発向け）
3月	・今年度の援の反省 ・マネジメント研修②	・支援内容の反省と振り返り ・「活気ある職場づくり×メンタルヘルス」 ・「多様な人材が活躍できる働きやすい職場づくり」 ・「活気ある職場づくりのための工夫～チームコーチングの取組み～」（管理者・児発向け）

(2) 職場外（派遣）研修

月	研修名	主催
7月	令和2年度 障がい者相談支援従事者初任者研修	一般社団法人岩手県社会福祉士会 岩手県保健福祉部障がい保健福祉課
10月	令和2年度 サービス管理責任者等基礎研修	一般社団法人岩手県社会福祉士会 岩手県保健福祉部障がい保健福祉課
11月	・令和2年度 サービス管理責任者等基礎研修（演習） ・北海道、東北ブロック青年会セミナー ・令和2年度 サービス管理責任者更新研修	・一般社団法人岩手県社会福祉士会 岩手県保健福祉部障がい保健福祉課 ・鳥取県社会福祉法人経営青年会 社会福祉法人尚仁福祉会理事長 祇園富広氏 ・一般社団法人岩手県社会福祉士会 岩手県保健福祉部障がい保健福祉課
1月	令和2年度 発達障がい基礎研修会	岩手県発達障がい者支援センターウイズ
2月	「ペップトーク 言葉かけ術」	奥州商工会議所

Ⅲ. 防災関係

防災避難訓練実施内容

実施日	重点目標	想定	参加者数
令和2年5月9日(土)	日中時の地震発生時における職員基本対応	東日本大地震 震度7	利用児・者 6名 職員 4名
令和2年8月3日(月)	迅速な避難、通報、消火訓練	ガスコンロより出火	利用児・者 11名 職員 6名
令和2年11月28日(土)	迅速で安全な避難	北上川氾濫による浸水(水害・土砂災害)	利用児・者 9名 職員 4名
令和3年2月13日(土)	火災発生時の初期消火訓練及び避難誘導訓練 (1) 消火器の点検 (2) 避難経路の点検	冬季における火災発生時の避難誘導及び初期消火訓練が迅速且つ円滑にできるようにする。	利用児・者 8名 職員 3名

令和3年5月12日

ひだまり江刺第二桜木事業所

所長 高梨 恵

令和2年度ひだまり水沢森下児童課事業報告

I. 事業報告

令和2年度の重点支援目標として下記のように掲げ、目標が達成できるよう努めた。

- (1) 児童が通う学校や保育園等との情報交換及び連携を図る。
- (2) 個々の特性に応じた遊びや活動を個別に計画し実施する。
- (3) 様々な社会資源を利用することにより社会経験の幅を広げる。
- (4) 集団での過ごし方、その中での自分の役割を意識づけられるよう支援する。
- (5) 様々な活動プログラムを用意し、余暇の充実を図る。

成果の詳細

- ・利用時の様子や学校からの引継ぎ内容等、保護者にできる限り詳細にお伝えすることを心掛け、共通理解を図ることができました。
- ・利用者一人一人のアセスメントを丁寧に取り、個別支援に反映させる事で保護者に、育児等に関する支援や助言のきっかけになりました。
- ・近隣の老人施設に訪問し、交流を図ることができました。
- ・年齢の幅が広い事で利用者同士の関わりが増え、大きな利用者は小さな利用者を気に掛ける等意識しながら過ごすようになりました。
- ・新規利用者の保育園見学と情報交換を行うことができました。

2. 課題の詳細と改善目標

- ・老人施設等との交流を継続するとともに、保育園等と情報交換を行う事で地域交流を積極的な視点で検討します。
- ・バリアフリー化への配慮は、施設構造上ハード面では困難がありますが、配慮と支援等のソフト面の具体的対応を、全職員で共通認識し情報共有しながら見直します。
- ・利用者の発達状況の理解や、危険予知について再確認し支援方法の見直しを行いながら共通した支援を行う事で、怪我等の再発防止に努めます。
- ・面談や助言は、研修会等で専門知識を高めるとともに、サービス内容の情報収集に努めて、保護者の心情に寄り添って行えるように努めます。

3. 事業内容

(1) 放課後等デイサービス事業

- ・対象者 障がい児
- ・利用定員 10名
- ・活動日 日曜日から土曜日とする。
(但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、10時から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

(2) 日中一時支援事業

- ・対象者 障がい児・者
- ・利用定員 なし
- ・活動日 毎日（但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く）
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、午前7時30分から午後6時まで
土曜日、日曜日、祝日は、午前10時から午後4時まで

4. 職員構成

職員構成	基準	専従	兼務	計
管理者	1		1（生活課兼務）	1
児童発達支援 管理責任者	1	1		1
指導員	2	3.4		3.4
保育士		2		2
合計	4	7.4	1（生活課兼務）	8.4

5. 利用者の状況（R3.3.31時点）

(1) 放課後等デイサービス

区分	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	計
男子	1	2	1	2	4	1	2		3	2		2			20
女子				1						2		1	1		5
計	1	2	1	3	4	1	2		3	4		3	1		25

(2) 日中一時支援 ※放デイとの重複あり

区分	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	計
男子	1		1	1	1	2	4		2		3	2		2				19
女子						1						2	1	1	1			6
計	1		1	1	1	3	4		2		3	4	1	3	1			25

(3) 地域別利用者数

区分	奥州市 水沢	奥州市 江刺	奥州市 前沢	奥州市 胆沢	北上市	遠野市	金ケ崎町	その他
男	10		7	4				
女	3			2				1
計	13		7	6				1

(4) 障害種別（重複あり）

区分	発達障害	知的障害	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	その他	計
男	16	9	1		4	6	36
女	5		1			2	8
計	21	9	2		4	8	44

(5) 指標該当区分

平成 30 年度障害福祉サービス等報酬改定において、放課後等デイサービスの利用児童については新たな指標が設けられ、指標により判定された重度の区分に該当する児童の割合に基づき、放課後等デイサービス事業所の基本報酬が決まることとなりました。支給決定（更新含む）の際に、指標該当の有無を判定することとなり、以下の(1)または(2)に該当する場合は、受給者証に「指標該当児」と記載します。
 (1)「食事」、「排せつ」、「入浴」、「移動」のうち3以上の日常生活動作について、全介助が必要(2)コミュニケーション等の項目ごとに算出した点数の合計が13点以上の児童が該当児童となります。

区分	該当	非該当	登録児童	比率（該当/登録児童）
男	14	6	20	70 %
女	4	1	5	80 %
計	18	7	25	72 %

(6) 肢体不自由分類

区分	周辺児	重症心身障害児	医療的ケア児	計
男	3			3
女				
計	3			3

6. 実施状況

(1) 放課後等デイサービス

月	開所日数(日)	延人数(人)	平均利用者数(人)	送迎回数(回)
4月	30	288	9.6	224
5月	30	255	8.5	238
6月	30	310	10.3	340
7月	31	307	9.9	252
8月	27	248	9.1	147
9月	30	279	9.3	289
10月	30	276	9.2	289
11月	25	248	9.9	242
12月	25	261	10.4	242
1月	24	235	9.8	164

2月	24	245	10.2	239
3月	27	285	10.5	221
合計	333	3237	9.73	2887

(2) 日中一時支援事業

月	開所日(日)	延人数(人)	平均利用者数(人)	送迎回数(回)
4月	30	17	0.5	
5月	30	26	0.8	
6月	30	20	0.6	
7月	31	31	1.0	
8月	27	25	0.9	
9月	30	30	1.0	
10月	30	21	0.7	
11月	25	27	1.1	
12月	25	21	0.8	
1月	24	26	1.1	
2月	24	29	1.2	
3月	27	31	1.1	
合計	333	304	0.9	

(3) 通学支援事業(朝送迎)

月	提供日数(日)	延人数(人)	平均利用者数(人)	送迎回数(回)
4月	14	41	2.9	14
5月	17	51	3	17
6月	22	63	2.8	22
7月	16	42	2.6	16
8月	8	24	3	8
9月	19	47	2.4	19
10月	22	53	2.4	22
11月	18	50	2.7	18
12月	18	45	2.5	18

1月	11	31	2.8	11
2月	17	44	2.5	17
3月	9	20	2.2	9
合計	191	511	31.8	191

7. サービス提供内容

月	主な活動内容					
	日常生活訓練	社会適応訓練	運動・音楽・レク活動	創作活動	季節行事・その他	個別活動
4	当番活動 手指運動 おやつバイキング 身体測定	昼食を食べに行こう 名前を覚えよう 思い出発表会 挨拶運動 誕生会 選択活動 視覚ゲーム	音楽療法 室内運動 ラジオ体操 風船パレー 視覚ゲーム あみだくじおやつ パズル	塗り絵 カレンダー作り クリエイティブデイ 手指運動	春休みの思い出を書く ドライブ 自由活動	個別支援
5	当番活動(食器洗) 手指運動(はさみの 使い方) おやつバイキング おにぎりを作る	避難訓練 視覚ゲーム 誕生会 選択活動	音楽療法 室内運動 縄跳びをしよう テーブルゲーム おやつバイキング おやつを食べよう	塗り絵 母の日カード クリエイティブデイ	散歩 自由活動	個別支援
6	手指運動(はさみの 使い方) 昼食作り クリーン作戦 手指運動	ゲーム遊び 読み聞かせ 選択活動 名前を覚えよう	音楽療法 風船パレー おやつラリー	折り紙 うちわ作り ラッピング 壁面制作	散歩 短冊を書こう 自由活動	個別支援
7	当番活動(食器洗) おやつバイキング おやつ作り	避難訓練 読み聞かせ 選択活動	音楽療法 線の上鬼ごっこ リズム体操 スキル遊び 七夕お楽しみ会 パズル 座布団取りゲーム	塗り絵 切り絵 壁面制作 クリエイティブデイ	七夕を飾ろう ドライブ 水遊び 自由活動 散歩	個別支援
8	手指運動 おやつバイキング おやつ作り 大掃除 出前を取って食べる クリーン作戦	誕生会 選択活動 お金の計算 マス計算	音楽療法 座布団取りゲーム リズム体操 DVD鑑賞 おやつゲーム 読書 グループ活動	うちわ作り クリエイティブデイ ハーバリウム	水遊び 夏休みの振り返り 自由活動	個別支援
9	当番活動(事業所内 の掃除) 手指運動(折り紙ち ぎり) おやつ作り 身体測定	避難訓練 SSTプリント 選択活動 買い物遊び(お金 の計算) 旗上げゲーム 模写	音楽療法 体を動かそう ゲーム遊び(オセ ロ) リズム体操 仲間探し くじおやつ	制作(敬老の) 写真を撮ってみよ う 制作(みのむし)	自由活動	個別支援

10	手指運動(ひも結び・アイロンビーズを箸でつまむ・ティッシュボックス積み) おやつバイキング 当番活動(事業所内お掃除)	誕生会 SSTプリント 点つなぎプリント 言葉遊び	音楽療法 リズム体操 線の上鬼ごっこ 魚風船バレー 折り紙 おやつバイキング ハロウィンパーティーおやつ	塗り絵 ハロウィンバック あ菌の壁掛け	ハロウィンパーティー 自由活動	個別支援
11	手指運動(アイロンビーズ) 出前をとって食べよう	SST 伝承遊び 誕生会 選択活動 言葉遊び	音楽療法 リズム体操 大型オセロ 座布団取りゲーム じゃんけん遊び ラジオ体操	折り紙 壁画制作 制作(しおり・クリスマスリース)	散歩 ドライブ 自由活動	個別支援
12	片付けゲーム ココアを作ろう 昼食づくり 年末大清掃	SST 折り紙 誕生会 伝承遊び ヒントゲーム 絵合わせ	音楽療法 リズム体操 筋トレ カラオケ	制作(しおり・クリスマスツリー) クリエイティブデイ	クリスマス会 クリスマスパーティー 身体測定 自由活動	個別支援
1	新年の挨拶 非常食体験 クリーン作戦	避難訓練 お金の計算 読み聞かせ 伝言ゲーム お弁当を買いに行こう 誕生会 選択活動	音楽療法 室内運動 座布団取りゲーム オセロゲーム じゃんけんお楽しみ おやつ	塗り絵 雪だるまを作ろう 壁画制作 クリエイティブデイ	自由活動 書初め 福笑い 冬やすみの思い出を書こう・発表しよう	個別支援
2	当番活動 手指運動(はさみ) おやつ作り	SST マッチング 読み聞かせ 仲間探し 誕生会 眼球運動	音楽療法 室内運動 新聞じゃんけん 選択ゲーム遊び おやつゲーム	制作(コースター) 壁画制作 クリエイティブデイ	節分 工場見学(回進堂) バレンタインラッピング 自由活動 吊るしびな制作	個別支援
3	当番活動 手指運動(グーチョキパー) うがい手洗い 昼食会	誕生会 選択活動 クイズ 当番活動 選択活動	室内運動 線の上鬼ごっこ DVD鑑賞 シールスタンプラリー おやつあみだくじ カレンダー制作	切り絵 壁画制作 紙飛行機を折ろう 寄せ書き	ひな祭りパーティー ラッピング作業 春休みの目標 卒業と進級を祝う会 災害について知ろう 自由活動	個別支援

8. ひやりはっと・事故・苦情受付件数

(1) ひやりはっと・事故

月	ひやりはっと	事故	事故発生率 (事故/ひやりはっと×100)
4月	0 件	0 件	0 %
5月	0 件	0 件	0 %
6月	0 件	0 件	0 %
7月	4 件	0 件	0 %
8月	1 件	0 件	0 %

9月	3 件	0 件	0 %
10月	4 件	0 件	0 %
11月	1 件	0 件	0 %
12月	0 件	0 件	0 %
1月	0 件	0 件	0 %
2月	0 件	0 件	0 %
3月	0 件	0 件	0 %
計	13 件	0 件	0 %

(2) 要望・苦情等

月	要 望	苦 情	不適切と疑われた支援
4月	0 件	0 件	0 件
5月	0 件	0 件	0 件
6月	0 件	0 件	0 件
7月	0 件	0 件	0 件
8月	0 件	0 件	0 件
9月	0 件	0 件	0 件
10月	0 件	0 件	0 件
11月	0 件	0 件	0 件
12月	0 件	0 件	0 件
1月	0 件	0 件	0 件
2月	0 件	0 件	0 件
3月	0 件	0 件	0 件
計	0 件	0 件	0 件

II. 諸会議・職員研修の開催

1. 会議実施内容

「安全、安心、信頼」の構築に向けて努力する」を重点目標に掲げ、送迎中の事故やひやりはっとの予防策と検証を職員間で周知徹底し、利用者の皆さんにとって安心して、楽しく過ごす事ができる環境づくりと保護者の皆さんから信頼される事業所づくりを目指しました。

課題としては、施設の構造上、階段や段差への対策は、利用者行動の見守りと安全への声掛け支援が欠かせない為、事例を基に危険予測を前提にした支援の継続が必要です。また、定期的を送迎経路や出発時刻、チャイルドロック等の確認を行うとともに、職員間での情報共有と連携を密に図りながら事故防止に努めることの確認も継続して行います。

保護者の皆さんとの親睦と交流行事の企画、地域連携のあり方を具現化していくアイデアと工夫の検討を継続して行っていくことを確認しています。

(1) 事業所内会議

①職員会議

毎月1回開催し、各会議の報告、ひやりはっとの報告と今後の対応の周知、次月の業務・行事の確認等を行いました。更に、各月のテーマに沿った事業所内研修に取り組みました。

②個別支援会議

個別支援会議、モニタリング、ケース検討会を随時開催し支援方法の確認を行いました。6割弱を占める高学年以上の利用者に対しては、社会適応能力訓練に繋がる支援ツールの活用や行動移行、声かけのタイミングや言葉遣い等を中心に、また、低学年の利用者に関しては個々の特性に配慮し、仲良く安全に過ごすことを第一に、職員間で情報を共有し、円滑な支援に努めました。

2. 職員研修実施状況

令和2年度においては、交通事故防止の再確認、事業所内外の環境整備を継続して実施するとともに、放課後等デイサービスの加算に関する内容や接遇を取り上げてサービスの質の向上を目指してきました。また、職員の育成・資質向上を目指して、放課後等デイサービス卒業後の進路に関連する他の福祉施設の見学研修を行い、将来の自立を目指す支援の在り方についても考察しました。

(1) 職場内研修

月	テーマ	内容
4月	令和2年度法人及び森下事業計画について	読み合わせを実施し共通理解を深める 一年間の振り返り（良かった点、改善点）
5月	新型コロナウイルスについて	読み合わせ
6月	施設の安全管理・環境整備について	日常点検票・環境整備
7月	虐待防止・身体拘束	虐待防止マニュアルと児童養護施設における「不適切な関わり」に関する資料の読み合わせ
8月	感染症・食中毒とその対応について	読み合わせ
9月	事故防止と事故発生時の対応（リス	資料の動画を参考に検証

	クマネジメント)・福祉車両における安全運転について	
10月	交通事故防止について	安全運転自己診断テスト
11月	サービス評価表について	事業所・保護者向けの評価表の確認
12月	接遇について	不適切なケアについての動画を参考に支援の確認をおこなっている
1月	障害者虐待防止と対応について	資料の読み合わせ
2月	ひだまり水沢森下児童課の事業計画書(案)	来年に向けて取り組みの話

(2) 職場外(派遣)研修

開催月	研修名	主催
11月	北海道・東北ブロック社会福祉法人経営青年会オンラインセミナー	社会福祉法人秋田県社会福祉法人経営青年会事務局
12月	感染症対策オンライン研修・基礎編Ⅰ感染症について正しく知ろう。新型コロナウイルス等の基礎知識と標準予防策	厚労省
12月	感染症対策オンライン研修・通所事業所における感染症対策	厚労省
12月	感染症対策オンライン研修・基礎編Ⅱもしも感染が発生した場合の対応編	厚労省
12月	感染症対策オンライン研修・保健所の活用の仕方～どんな時に頼れば良いの?～	厚労省
1月	感染症対策オンライン研修・市中感染・家庭内感染はこうして防ごう～施設職員のための注意～	厚労省
1月	感染症対策オンライン研修・事例に学ぶ～福祉施設で感染が発生したらどう動けばよいか?～	厚労省
2月	新しい子どもたちを迎える前に職員として知っておくべき事・配慮すべき環境と支援	(一般社団法人)障がい児成長支援協議会
2月	令和2年度奥州市地域自立支援協議会療育部会障がい児支援事業所情報交換会	奥州市基幹相談支援センター
2月	ペップトーク「言葉がけ術」	奥州商工会議所

Ⅲ. 防災関係

防災避難訓練実施内容（生活介護課と合同での実施。参加者数は児童課限定人数）

実施日	重点目標	想定	参加者数
5月28日(木)	迅速な避難 的確な通報	<地震> 東日本大震災 震度7 発生時刻 15:30	利用児・者 6名 職員 9名
7月5日(金)	迅速な避難 的確な通報 消火訓練 消火器設置場所確認	<火災> 一階多目的室付近 より出火 出荷時刻 15:30	利用児・者 6名 職員 9名
9月28日(土)	迅速な避難 的確な通報	<水害・土砂災害> 大雨による 水害土砂災害 実施時刻 11:30	利用児・者 7名 職員 4名
1月25日(土)	迅速な避難 的確な通報 消火訓練 消火器設置場所確認	<火災> 二階食堂カセット コンロより出火 出火時刻 11:45	利用児・者 8名 職員 4名

令和3年5月12日

ひだまり水沢森下児童課

所長 尾山恒夫

令和2年度ひだまり水沢駅東事業報告

I. 事業報告

ひだまり水沢駅東の令和3年3月末時点での登録者数は、新規利用者2名（小学1年）を迎え、16名（放デイ15名、日中一時1名）。放デイのみでは、一日平均9.5名（利用率95%）。前年度の登録者数は19名、一日平均9.4名（利用率94%）でした。

令和2年度は、前年度、利用者の飛び出しによる車両接触事故という重大な事案の発生を踏まえ、毎日の活動において、危険予知について話し合いを重ね取り組みました。その結果、職員それぞれが利用者の特性について考え、危険のポイントについて共通認識を持ち、安全を確認して行動することへの意識強化が見られてきたと感じます。

日々の支援では、新型コロナウイルス感染の観点から、外出活動に制限がかかることがありましたが、感染予防に努めながらの外出や、事業所内で買い物体験が出来るよう内容を工夫して実施しました。一方で課題もあり、今年度のひやりはっとの20件のうち半数以上が職員関係による内容でした。原因は確認不足が多く割合を占めている為、改善策を話し合い、防止に努めています。

毎年実施しているアンケート調査については、保護者向けアンケートの回収率は71%、前年度は94%でしたので下降しております。この結果については課題として捉え、改善に繋げていきます。アンケート集計では、保護者同士の交流の場を求めている方が多くありましたが、今年度はコロナ禍でもあり、実現は出来ませんでした。次年度は開催に向けた実現検討をしていきます。適切な支援提供について、個別支援への取り組みにおいては90%、その他保護者への説明においては、100%の評価を頂いた項目が半数ありました。しかし、満足度については、85%となり、低下が見られました。今後も利用者及び保護者の要望を伺いながら、アセスメントに基づき、個々に応じた支援の提供が出来るよう努めます。

また、職員によるアンケートでは、児童クラブ等の子どもや、地域の方との交流については、継続課題として挙げられています。今後もコロナ状況を踏まえつつ、出来る事は何か検討し改善に繋げていきたいと考えます。

これらをまとめ、次年度も引き続き利用者のサインへの気付きを大切にすることに重点を置き、利用者を安全にお預かりし、安心した気持ちで過ごせるよう支援の充実を努めます。また、職員の資質向上、関係機関との連携、保護者との信頼関係の構築に重点を置き取り組んでいきます。

1. 成果の詳細

- ・日々の活動の打ち合わせを丁寧に行い、職員の共通認識を図ることで、事故防止に対する意識を高めることが出来たと感じています。
- ・保護者へ情報提供を心掛けることで、共通理解の基、支援に繋ぐことが出来たのではないかと考えます。

- ・支援方法について課題として取り上げ検討することで、統一した支援への取り組みに繋げることが出来たのではないかと考えます。

2. 課題の詳細と改善目標

- ・職員による確認不足については、仕事内容を見直し、改善を図り予防に努めます。
- ・利用者の発達段階に着目し、アセスメントに基づいて個々に応じた支援の提供が出来るよう努めます。
- ・コロナ禍における地域との関わり方について検討し、交流する機会が増えるよう検討します。

3. 事業内容

(1) 放課後等デイサービス事業

- ・対象者 障がい児
- ・利用定員 10名
- ・活動日 日曜日から土曜日
(但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、10時から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

(2) 日中一時支援事業

- ・対象者 障がい児・者・利用定員 なし
- ・活動日 毎日 (但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、7時30分から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

4. 職員構成 (R3. 3. 31 現在)

職員構成	基準	専従	兼務	計
管理者	1	1		1
児童発達支援管理責任者	1		1	
保育士		2		2
児童指導員	2	3		3
指導員		2		2
送迎員				
合計	4	8	1	8

5. 利用者の状況 (R3. 3. 31 現在)

(1) 放課後等デイサービス

区分	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	計
男	2	1			2	2		1	1	2		1	12
女						1		1		1			3
計	2	1			2	3		2	1	3		1	15

(2) 日中一時支援事業

区分	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	18歳	22歳	計
男	2	1			2	1		1	1	1	1	1	11
女						1		1		1			3
計	2	1			2	2		2	1	2	1	1	14

(3) 地域別利用者数

区分	奥州市 水沢	奥州市 江刺	奥州市 前沢	奥州市 胆沢	北上市	遠野市	金ヶ崎町	その他
男	12		1					13
女	3							3
計	15	0	1	0	0	0	0	16

(4) 障害種別 (重複あり)

区分	発達障害	知的障害	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	その他	計
男	9	4			1		14
女	2	1			2		5
計	11	5			3		19

(5) 指標該当区分

平成30年度障害福祉サービス等報酬改定において、放課後等デイサービスの利用児童については新たな指標が設けられ、指標により判定された重度の区分に該当する児童の割合に基づき、放課後等デイサービス事業所の基本報酬が決まることとなりました。支給決定（更新含む）の際に、指標該当の有無を判定することとなり、以下の(1)または(2)に該当する場合は、受給者証に「指標該当児」と記載します。(1)「食事」、「排せつ」、「入浴」、「移動」のうち3以上の日常生活動作について、全介助が必要(2)コミュニケーション等の項目ごとに算出した点数の合計が13点以上の児童が該当児童となります。

区分	該当	非該当	登録児童	比率 (該当/登録児童)
男	11	1	12	92%
女	3	0	3	100%
計	14	1	15	93%

(6) 肢体不自由分類

区分	周辺児	重症心身障害児	医療的ケア児	計
男				0
女				0
計	0	0	0	0

6. 実施状況

(1) 放課後等デイサービス

月	開所日数	延人数	平均利用者数	送迎回数
4月	28	272	9.7	261
5月	31	279	9.0	286
6月	30	305	10.2	349
7月	31	302	9.7	281
8月	27	263	9.7	198
9月	30	283	9.4	301
10月	31	297	9.6	341
11月	30	264	8.8	284
12月	29	280	9.7	291
1月	27	239	8.6	207
2月	28	262	9.4	272
3月	31	307	9.9	264
合計	353	3353	9.5	3335

(2) 日中一時支援事業

月	開所日数 (日)	延人数 (人)	平均利用者数 (人)	送迎回数 (回)
4月	28	35	1.3	15
5月	31	63	2.0	30
6月	30	45	1.5	25
7月	31	57	1.8	30
8月	27	58	2.1	27
9月	30	49	1.6	27
10月	31	47	1.5	28
11月	30	54	1.8	29
12月	29	42	1.4	23
1月	27	51	1.9	22
2月	28	59	2.1	31
3月	31	40	1.3	21
合計	353	600	1.7	308

(3) 通学支援事業（朝送迎）

月	提供日数（日）	延人数（人）	平均利用者数（人）	送迎回数（回）
4月	13	19	1.5	13
5月	17	33	1.9	17
6月	22	45	2.0	22
7月	16	34	2.1	16
8月	8	13	1.6	8
9月	18	38	2.1	18
10月	21	41	2.0	21
11月	18	37	2.1	18
12月	18	40	2.2	18
1月	12	22	1.8	12
2月	17	40	2.4	17
3月	14	30	2.1	14
合計	194	392	2.0	194

7. サービス提供内容

月	主な活動内容					
	日常生活 訓練	社会適応訓練	運動・音楽・ レク活動	創作活動	季節行事・ その他	個別 活動
4	手洗い手順 登所後の流れ	誕生会 クリーン作戦 進級・進学を祝う会 散歩	リズム体操、DVD鑑賞 風船バレー、バランス運動、 シャボン玉、ゲーム遊び	制作 (こいのぼり) 塗り絵	花植え	個別支援 パズル 当番活動
5	紐通し	誕生会、避難訓練 胆沢ダム散策 買い物体験	リズム体操、おやつバイキング 風船バレー、シャボン玉 ゲーム遊び、運動(地区センター)	塗り絵 制作(家族への プレゼント)	花の手入れ	個別支援 プリント 当番活動
6	おやつ作り 紐通し 手洗いの仕方	誕生会 見分森散策 買い物体験	音楽療法、リズム体操、ゲーム遊 び、くじ引きおやつ、バランスボ ール、シャボン玉、クロスホッピ ング、くじ引きおやつ	制作 (七夕飾り) 塗り絵 輪っなぎ	花の手入れ	個別支援 当番活動 プリント 読書
7	おやつ作り 食器洗い	誕生会、避難訓練 クリーン作戦 向山散策 買い物体験	音楽療法、リズム体操 しゃぼん玉、風船バレー、ゲーム 遊び、おやつバイキング	制作(かき氷)	花の手入れ	個別支援 パズル 当番活動 プリント
8	おやつ作り	誕生会 クリーン作戦 胆沢ダム散策	音楽療法、リズム体操、DVD鑑賞、 ゲーム遊び、運動 しゃぼん玉、くじ引きおやつ	制作(花火) 塗り絵	花の手入れ	個別支援 プリント 当番活動

9	おやつ作り 紐通し	誕生会、避難訓練 クリーン作戦 買い物体験	音楽療法、リズム体操、DVD鑑賞、 バランスボール運動 しゃぼん玉、ゲーム遊び 新聞ゲーム おやつバイキング	塗り絵 制作（キノコ）	花の手入れ	個別支援 プリント 当番活動 パズル
10	紐通し	誕生会 奥州湖地要望台 買い物体験	音楽療法、楽器遊び、リズム体操、 DVD鑑賞、クロスホッピング、お やつバイキング、 ゲーム遊び	制作 （ハロウィン） 塗り絵 折り紙	花の手入れ ハロウィン パーティー、	個別支援 パズル 当番活動 読書
11	紐通し	誕生会、 クリーン作戦 宇宙遊学館 非常食体験	音楽療法、楽器遊び、リズム体操 シャボン玉 バランス運動 ゲーム遊び	塗り絵 制作（万華鏡、 クリスマスリ ース）	花の手入れ	個別支援 プリント パズル
12	おやつ作り 洗濯物干し	誕生会 出前体験	音楽療法、楽器遊び、リズム体操、 DVD鑑賞、おやつバイキング、ク ロスホッピング、 風船バレー、ゲーム遊び、	制作（絵馬） 塗り絵	ツリーの装 飾 クリスマス パーティー、 大掃除	個別支援 当番活動 プリント パズル
1	おやつ作り 紐通し	誕生会、避難訓練 クリーン作戦 買い物体験	音楽療法、楽器遊び、リズム体操、 DVD鑑賞、風船バレー おやつバイキング、ゲーム遊び	制作（鬼） 塗り絵	初詣 正月遊び	個別支援 プリント 当番活動
2	おやつ作り 紐通し	誕生会 買い物体験	音楽療法、楽器遊び、 おやつバイキング、ゲーム遊び	制作 （ひな人形） 塗り絵	豆まき	個別支援 プリント 当番活動 パズル 読書
3	おやつ作り 紐通し	誕生会 クリーン作戦 買い物体験 散歩	音楽療法、楽器遊び、リズム体操、 風船バレー、ゲーム遊び	制作（チューリ ップ、キーホル ダー）塗り絵	ひな祭り 読み聞かせ 卒業を祝う 会	個別支援 プリント パズル

8. ひやりはっと・事故・苦情受付件数

(1) ひやりはっと・事故

ひやりはっとは、利用者による行為が8件。危険予測や利用者の動向への意識不足が原因と捉えております。特性の理解や、危険予知について都度打ち合わせをし、共通認識を持って支援出来るよう努めます。その他は、職員関係が半数以上を占めており、確認不足による内容が多いことから、個々の意識強化と複数職員で確認を行い、再発防止に努めます。

事故報告は、0件でした。引き続き事故防止に努めます。

月	ひやり・はっと	事故	事故発生率 (事故/ひやりはっと×100)
4月	4件	0件	0%
5月	0件	0件	0%
6月	3件	0件	0%
7月	1件	0件	0%
8月	3件	0件	0%
9月	1件	0件	0%
10月	2件	0件	0%
11月	1件	0件	0%
12月	1件	0件	0%
1月	0件	0件	0%
2月	0件	0件	0%
3月	4件	0件	0%
計	20件	0件	0%

(2) 要望・苦情等

苦情の1件は、エアコン室外機の騒音による内容でした。改善に努めております。

月	要望	苦情	不適切と疑われた支援
4月	0件	0件	0件
5月	0件	0件	0件
6月	0件	0件	0件
7月	0件	0件	0件
8月	0件	0件	0件
9月	0件	0件	0件
10月	0件	0件	0件
11月	0件	0件	0件
12月	0件	1件	0件
1月	0件	0件	0件
2月	0件	0件	0件
3月	0件	0件	0件
計	0件	1件	0件

II. 諸会議・職員研修の開催

1. 会議実施内容

(1) 事業所内会議

①職員会議

毎月1回開催し、利用者の個別特記・個別支援についての確認、各会議の報告、ひやりはっとの報告と対応策についての検討をし、振り返りをしています。また人権擁護チェック表の結果から具体例を挙げ課題についての協議、次月の業務・行事の確認等を行いました。更に、事業所内研修として、年間計画に基づいて実施し、外部研修の伝達等を通して、日々の支援に繋げるよう取り組みました。

②個別支援会議

個別支援会議、ケース検討会を随時開催し、支援内容や方法について確認を行いました。個々の発達段階に合った支援が提供出来るよう、職員間で情報を共有し、統一した支援を目標に努めました。

2. 職員研修実施状況

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染予防に関する内容について実施する機会が多く、研修受講職員からの伝達を行い、予防への意識強化に努めました。外部研修の参加数は例年より少ないですが、内部研修の充実を図りました。

次年度においても、職員の資質向上に繋がるよう、積極的に参加していきます。

(1) 職場内研修

月	テーマ	内容
4月	・事業計画について ・個別支援計画について	・事業計画書に基づいて説明 ・個別支援計画書に基づいて確認
5月	・人権擁護について	・人権擁護チェック表を基に確認 ・マニュアルを基に確認
6月	・感染症、食中毒と予防 ・緊急時対応（搬送）	・嘔吐処理の実践、熱中症への対応策 ・緊急避難時の搬送実践
7月	・ひやりはっどについて	・ひやりはっど事例を基に危険予知について確認
8月	・支援のあり方について	・困難事例や成功事例を基に話し合い意識統一を図った
9月	・支援ツール、グッズ等作成 ・非常災害について	・各自作成した内容について発表 ・初期消火実践
11月	・危険予知について ・支援のあり方について	・資料に基づいて実施 ・リタリコ伝達研修内容に基づき確認
12月	・AED・心肺蘇生法について ・虐待防止について	・AED、心肺蘇生法について確認 ・具体的事例に基づき振り返り
1月	・身体拘束の廃止と支援の質の向上に向けて	・資料を基に確認

2月	・一人一研究発表	・発表者による発表
3月	・1年間の振り返り	・今年度の振り返りと次年度への計画

(2) 職場外（派遣）研修

月	研修名	主催
1月	発達障がい基礎研修会オンライン研修	岩手県発達障がい者支援センターウィズ
2月	障害児支援事業所情報交換会 新しい子どもたちを迎える前に職員として知っておくべきこと・配慮すべき環境と支援	奥州市基幹相談支援センター 一般社団法人障がい児成長支援協会
3月	感染症対策オンライン研修	・厚労省

Ⅲ. 防災関係

防災避難訓練実施内容

実施日	重点目標	想定	参加者数
5月16日(木)	・迅速な避難 ・情報収集	地震（震度7） 発生 15：30	利用児 12名 職員 7名
7月25日(木)	・夏季における火災発生時の避難誘導 ・初期消火訓練が迅速且つ円滑にできるようにする。	1階湯沸室付近より出火 14：30	利用児 14名 職員 7名
9月10日(火)	・水害発生時における迅速な避難・情報収集・現状報告訓練 ・避難場所への避難 ①垂直避難②指定緊急避難場所：常盤地区センター)	大雨による水害・土砂災害 15：00	利用児 10名 職員 5名
1月10日(木)	・冬季における火災発生時の避難誘導 ・消火訓練が迅速且つ円滑にできるようにする。	1階湯沸室より出火 11：00	利用児 11名 職員 6名

令和3年 5月12日

ひだまり水沢駅東
所長 千葉 浩枝